



# 安全データシート

MATERION

## 1. 特定

製品特定名	Cesium Tantalate (CsTaO3)
他の特定方法	
SDS番号	C-MSDS0119
CAS番号	12158-56-4
推奨される用途	データなし。
推奨される制限	知見なし。
製造者 / 輸入者 / 供給者 / 販売者情報	
製造元	
会社名	Materion Advanced Chemicals Inc.
住所	407 n 13th Street 1316 W. St. Paul Avenue Milwaukee, WI 53233 US
電話番号	414.212.0257
メールアドレス	advancedmaterials@materion.com
担当者 (作成者)	Noreen Atkinson
緊急時電話番号	ケムトレック ( Chemtrec ) 800.424.9300
供給元	データなし。

## 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	区分外。
健康に対する有害性	区分外。
環境に対する有害性	区分外。
ラベル要素	
危害要因シンボル	なし。
注意喚起語	なし。
危険有害性情報	化学物質は分類基準を満たしていない。
注意書き	
安全対策	産業衛生に気を配る。
応急措置	取り扱った後、手を洗うこと。
保管	避けるべき物質の近くに保管しない。
廃棄	廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。
その他の危険有害性情報	知見なし。
その他の情報	For further information, please contact the Product Stewardship Department at +1.800.862.4118.

## 3. 組成、成分情報

物質			
化学名	一般名および別名	CAS番号	%
Cesium Tantalate (CsTaO3)		12158-56-4	100

M: 乗数

vPvB: 高難分解性及び高生物蓄積性を有する物質。

PBT: 難分解性、生物蓄積性及び毒性を有する物質。

\*は、特定の化学的特定名および/または組成のパーセンテージは企業秘密として公表が控えられていることを示す。#: この物質にはEU作業環境曝露限界値が設定されている。

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセント (kg) である。ガス濃度は容量パーセント (l) である。

## 4. 応急措置

吸入	空気の新鮮な場所に移動する。呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	水で洗う。予防措置として、水で眼を洗浄する。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。大量に飲み込んだ場合は、直ちに毒物管理センターに連絡する。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
必要な手当ておよび特別な処置の指示	症状にあった治療を施す。
一般情報	気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。

## 5. 火災時の措置

適当な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。
適合ではない消火媒質	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
化学物質による特別な危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
消火を行う者のための特別な保護具および予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
消火設備 / 指導	未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

## 6. 漏出時の措置

個人の予防措置、保護具および応急処置	関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。人体の保護具については第8項を参照。
封じ込めと洗浄の方法および材料	リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。後に処分するために流出物の前方に土手を築く。製品回収後、その付近を水で洗い流す。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面に排出しない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置	長時間の接触を避ける。容器の取扱いおよび開封の際は注意する。産業衛生に気を配る。取扱い/保管は慎重に行うこと。
あらゆる不適合性を含む、安全な保管条件	元の容器に密閉して保管する。取扱い/保管は慎重に行うこと。混蝕危険物質 (本SDS第10項を参照) から離して保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 (暴露限界値) および管理濃度	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
生物学的限界値	成分の生物学的暴露限界値は指摘されていない。
暴露ガイドライン	暴露基準は設定されていない。

**設備対策** 適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。通常は全体換気で十分である。

**個人保護具のような、個人保護措置**

**眼/顔面の保護** サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。接触の可能性がある場合、側面ガードつき安全メガネが望ましい。通常は必要ない。

**皮膚の保護具**  
**手の保護具** 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらってもできる。通常は必要ない。

**その他** 適切な保護衣を着用する。

**呼吸器の保護具** 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。通常、呼吸用保護具は必要ない。

**熱危険** 必要に応じて適切な耐熱防護服を着用すること。

**一般的な衛生に関する検討** 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

**9. 物理的及び化学的性質**

**外観**

**物質の状態** 固体。

**形状** 固体。

**色** データなし。

**臭い** データなし。

**臭いの閾値** データなし。

**pH** データなし。

**融点・凝固点** データなし。

**初留点及び沸点範囲** データなし。

**引火点** データなし。

**蒸発速度** データなし。

**燃焼性（固体、ガス）** データなし。

**燃焼又は爆発範囲**

**燃焼範囲 - 下限（%）** データなし。

**燃焼又は爆発範囲 - 上限** データなし。

**爆発下限界（%）** データなし。

**爆発上限界（%）** データなし。

**蒸気圧** データなし。

**蒸気密度** データなし。

**比重** データなし。

**溶解度**

**水溶性** データなし。

**n-オクタノール / 水分係数** データなし。

**自然発火温度（発火点）** データなし。

**分解温度** データなし。

**粘度** データなし。

**その他の情報**

**爆発性状** 爆発物でない。

**分子式** Cs<sub>2</sub>O<sub>3</sub>Ta<sub>2</sub>O<sub>7</sub>

**酸化能力** 酸化性でない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

### 可能性のある暴露経路に関する情報

吸入	吸入による有害作用は予測されない。長期にわたる吸入は有害である恐れがある。
皮膚に付着した場合	皮膚接触による無毒性量があると思われる。
目に入った場合	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、不快感を起すことがある。飲み込んだ場合の有害性は低いと予想される。しかしながら、経口摂取が職業暴露の主要な経路となる可能性は低いと考えられる。

物理および化学特性ならびに毒性に関する症状 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。暴露すると、一時的な刺激、発赤、または不快感を引き起こすおそれがある。

### 毒物学的作用に関する情報

急性毒性	データなし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。知見なし。
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	知見なし。この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
発がん性	IARC、ACGIH、NTPあるいはOSHAによれば、この製品は発がん物質とはみなされない。ヒトへの発がん性を分類できない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
生殖毒性	分類基準に該当しない。この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予想されない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。分類基準に該当しない。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類基準に該当しない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。吸引性呼吸器有害性でない。
慢性の効果	米国労働安全衛生局 (OSHA) の基準よれば危険有害性とは予想されない。長期にわたる吸入は有害である恐れがある。
詳しい情報	この製品の人体に対する副作用は知られていません。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に対して有害であるとは予想されない。この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないと限らない。
残留性/分解性	この製品の分解性についてのデータはない。
生体内蓄積の可能性	データなし
土壤中の移動性	データなし
その他の悪影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

## 13. 廃棄上の注意

### 取扱説明

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。適用され規則に準拠して廃棄しなければならない。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

### 地域の廃棄規制

適用され規則に準拠して廃棄しなければならない。

### 危険有害性廃棄物コード

廃棄物コードは、使用者、生産者そして廃棄物処理会社との話し合いにより、決めるべきである。

### 残留物 / 未利用製品からの廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない(「廃棄上の注意」参照)。該当しない。

### 汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

## 14. 輸送上の注意

### TDG

危険物には該当しない。

### IATA

危険物には該当しない。

### IMDG

危険物には該当しない。

### MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

該当しない。

## 15. 適用法令

### カナダ規制

この製品はCPRの危険有害正基準に準拠して分類されており、SDSはCPRにより要求される全ての情報を含んでいる。

### 規制薬品薬物法

該当せず。

### 輸出規制リスト(CEPA 1999、スケジュール3)

リストに記載されていない。

### 温室効果ガス

リストに記載されていない。

### 前駆体管理規則

該当せず。

### 国際規制

製品は、ECディレティブまたは該当する国内法に従順して、分類されラベル付けされています。製品は、EC指令ないし各国の関係法に基づく表示は不要である。この安全性データシートは、規則(EC)No 1907/2006、改訂版の要件に適合している。化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則(REACH)(EC)No 1907/2006を改訂する規則No 453/2010物質および混合物の分類、表示、包装、および指令67/548/EECならびに1999/45/ECの改正と廃止、および規則(EC)No 1907/2006の改訂に関する規則(EC)No 1272/2008。

### ストックホルム条約

該当しない。

### ロッテルダム条約

該当しない。

### 京都議定書

該当しない。

### モントリオールプロトコル

該当しない。

### バーゼル条約

該当しない。

## 国際インベントリー

国または地区	リスト名	各リストへの登録状況 ( はい / いいえ )
オーストラリア	オーストラリア既存化学物質インベントリー ( AICS )	なし
カナダ	国内物質リスト ( DSL )	なし
カナダ	非国内物質リスト ( NDSL )	はい
中国	中国現有化学物質名録 ( IECSC )	なし
欧州	欧州既存商業化学物質リスト ( EINECS )	はい
欧州	欧州届出化学物質リスト ( ELINCS )	なし
日本	化審法既存・新規化学物質 ( ENCS )	なし
韓国	既存化学物質目録 ( ECL )	はい
ニュージーランド	ニュージーランド・インベントリー	なし
フィリピン	フィリピン化学品および化学物質インベントリー ( PICCS )	なし
アメリカおよびプエルトリコ	有害物質規制法 ( TSCA ) リスト	はい

\* 「Yes」は、この製品のすべての成分がその国の登録要件を満たしていることを示す

「なし」は、製品の1つ以上の成分が、管轄国が管理するインベントリーにリストアップされていないが、リストアップが免除されていることを示す。

## 16. その他の情報

発行日	2017/04/24
版番号	01
詳しい情報	HMIS®は米国ペンキおよびコーティング協会(NPCA)の登録商標またはサービスマークである。

## 参考文献

ACGIH  
ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices  
EPA : データベースを入手  
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank  
IARC発がん性評価モノグラフ  
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens  
NLM : 有害物質データベース  
米国。化学薬品に対する職業被ばくに関するIARCの単行本  
韓国。偶発的放出防止物質 (有害化学物質管理法大統領令、行政命令第19203号)  
韓国。有害物質限界量 (有害物質安全管理法大統領令第18406号、スケジュール1)  
韓国。製造が禁止されている有害物質 (労働安全衛生法に関する大統領令 (第13053号)、第29条)  
韓国。製造または使用許可を必要とする有害物質 (労働安全衛生法に関する大統領令 (第130538号)、第30条)  
韓国。非毒性化学物質リスト (国立環境研究院 (NIER) 公示第1997-10号、改正のとおりに)  
韓国。観察物質 (TCCL行政命令第6条)  
韓国。OEL。有毒物質の許容濃度規制 (労働省 (MOL) 公示第1986-45号、改正のとおりに)  
韓国。禁止化学物質 (TCCL第11条)  
韓国。規制揮発性有機化合物 (VOC) (MOE通達第2001-36号、2001年3月8日、改正のとおりに)  
韓国。制限化学物質 (TCCL第11条)  
韓国。有害化学物質管理法 (TCCL)、既存化学物質インベントリー (KECI)  
韓国。有害化学物質管理法 (TCCL)、1997年前のリスト  
韓国。有害化学物質 (TCCL第10条)  
韓国。有害化学物質排出インベントリー (TRI) 化学物質 (TCCL第14条)  
台湾。危険物 (危険物と有害物質の危険有害性周知規定)  
台湾。産業用前駆体化学物質 (産業用前駆体化学物質の検査および申告の管理および分類に関する規定、MOEA法令第87号、改正のとおりに)  
台湾。OEL。(危険物と有害物質の作業環境に関する基準)  
台湾。有害化学物質 (TCS) (環境保護局により公表された有毒化学物質のリスト)  
台湾。有毒物質 (危険物と有害物質の危険有害性周知規定)  
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告  
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月  
JIS Z 7252 : 2014 GHSに基づく化学品の分類方法  
JIS Z 7253 : 2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)  
GOST 30333-2007。化学製品安全パスポート (SDS)。一般的要求事項。  
GOST 31340-2013。化学製品の表示。一般的要求事項。  
GOST 32419-2013。化学製品の分類。一般的要求事項。  
GOST 32424-2013。化学品の環境危険有害性分類。一般的要求事項。  
GOST 12.1.007-76。職場の安全システム。有害物質。分類および一般的安全要求事項。  
GOST 12.1.044-89。職場の安全システム。物質および材料の火災および爆発危険有害性。物質および材料の化学名。それらを判定する指標および方法の学術名。  
GOST 19433-88。危険物。分類およびマーキング。  
GOST 12.1.004-91。職場の安全システム。防火性。一般的要求事項。

## 免責条項

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。原料安全データシートに、さらに多くの情報が記載されている。Materion Advanced Chemicals Inc. は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。

本書は、技術的に信頼がおけるとみなされる情報源からのデータと、正しいと見なされる情報に基づいて作成されているが、Materionは本書に明示もしくは暗示されている情報の正確性について保証するものではない。Materionは、この情報およびその製品が使われるすべての状況を予測することはできず、また製品使用時の実際の条件は統制できない。従って、ユーザーはこの製品を特定目的のために使うにあたり、分かり得るすべての情報を評価し、国及び地方公共団体の法令に準拠する責任がある。